



植樹でつなぐ森づくり

「苗木から育てて 未来の森づくり」をテーマに、5月22日、第62回群馬県植樹祭が大室公園で開催されました。記念植樹では、サクラやツツジなど600本の苗木が植えられ、緑豊かな郷土づくりに向けて一歩を踏み出しました。



剣聖上泉伊勢守生誕500年祭が5月18日、上泉自治会館と桂萱中体育館で盛大に行われました。式典では八木節などの催しや柳生新陰流22世宗家柳生耕一さんの講演、同流派の特別演武も。来場者は、本市の生んだ剣聖の功績をたたえました。

優雅な舞大勢の観客を魅了

5月17日、中心市街地で富山市八尾地区に伝わる伝統的な踊り「風の盆」の特別公演が行われました。胡弓の音色が響く中、和服姿の踊り手が優雅な踊りを披露し観客を幻想的な世界へ。その後、市民も踊り方の指導を受け一緒に輪踊りを楽しみました。



朔太郎の業績をたたえ

朔太郎忌は毎年5月の第2日曜日に実施されています。今年もちょうど、命日にあたる5月11日に開催。講演や詩の朗読、合唱、マンドリン演奏などを行い朔太郎をしのびました。



伊勢守をしのび式典盛大に

自分の投げ技を信じて攻める



JOCジュニアオリンピック優勝
金沢 翔太さん・16歳
関根町

4月に横浜市で行われたJOCジュニアオリンピックレスリング男子カデット(15歳から17歳)グレコローマンスタイル54kg級で優勝した。この大会はオリンピックで活躍できる選手を発掘し育成するため、日本オリンピック委員会が開催。全国から選ばれた高校生らがトーナメント方式で優勝を目指した。

「この大会を目指しみんなで練習してきたので、勝てると思っていました。日頃指導してくれる顧問の先生や大学生、部員のおかげです」

試合は体重による階級別なので、体重管理もする必要があります。「試合が近くなるとランニングで体を絞ったり、夕食を食べ過ぎないようにしたりしています」

レスリングは小1の時に母の薦め

で始めた。中学生の時は学校にレスリング部が無かったので柔道部に。試合には、上半身の攻防のみで戦うグレコローマンスタイルに出場するので、柔道で練習した投げ技が生かせるという。

「試合で投げ技が決まったときは、最高。相手も必死なのでなかなか決まらない。そんな時は粘り強く技を出すようにしています」

現在、前西高の2年生で毎朝30分、放課後は2時間の練習をする。週末も大学生と練習があり、友達と遊ぶ時間はほとんどない。

夢はオリンピック選手。でも今は力不足なので、一生懸命練習して一つ一つ大切に試合を戦っていきたくて謙虚に話した。心身をさらに鍛える夢に向かって羽ばたいてほしい。

若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

佳作 バイオリン

荒牧小3年
生方 千晴さん

バイオリンは、きれいな音を、出そうとすると、出てくるのに、やりたくないのに、むりしてひくと、へんな音が、出てくる。まるで、なにかがとりついているようだ。

バイオリンは、いつも、楽しく、おどれるように、ケースの中でまわっている。だから、いつも、バイオリンを出して、ひいて、あげるんだ。一日出してあげないと、一日、水をあげなかった、花みたいにしぼんだ音に、なってしまうんだ。バイオリンは、なんてふしぎなんだろう。

佳作 ヤドカリ

大胡小4年
江田 楓華さん

ヤドカリをかかさつした。色は緑っぽい黄色だからをさわった。すこし毛がはえていて気もちよかつた。中から出てくる足をもち上げようとしたら、指に、てくてくとこのぼつて来たお母さんがさわろうとするとハサミを上に向けておこる。だからお母さんはさわらないわたしはかいぬしとしてお母さんにあやまった。自分であやまらないでわたしにあやまらせるなんてずるいずるい